

金沢市都市計画マスタープラン

～ 都市計画に関する基本的な方針 ～

第 1 回策定委員会資料

平成 19 年 8 月 23 日

平成 19 年度 金沢市都市計画マスタープラン 目次

序 計画策定にあたって	序-1
序 - 1 計画の概要	序-1
序 - 2 既定計画策定以降の都市づくりの取り組み	序-4
第 1 章 都市づくりの視点と課題	1-1
1 - 1 現行の都市計画マスタープランにおける視点・課題等	1-1
1 - 2 今回の改訂にあたっての視点	1-2
1 - 3 今回の改訂にあたっての課題	1-11

今回提示、協議部分

第 2 章 都市の将来像

- 2 - 1 都市づくりの将来像
- 2 - 2 将来の都市構造
- 2 - 3 都市づくりの目標

第 3 章 重点的都市づくりプロジェクト

第 4 章 都市づくりの方針

- 4 - 1 土地利用の方針
- 4 - 2 都市基盤整備の方針
 - (1) 市街地づくり〔市街地整備〕
 - (2) 道づくり〔道路・交通整備〕
 - (3) 憩いの場づくり〔公園・緑地・みどり〕
- 4 - 3 都市環境整備の方針
 - (1) 都市景観づくり〔歴史的、伝統的景観・近代的都市景観等〕
 - (2) 安全・安心な環境づくり〔都市防災・防犯・バリアフリー・処理施設〕
 - (3) 水環境づくり〔下水道・河川〕
 - (4) 市民生活を支える公共公益施設づくり
 - 〔学校教育、生涯学習、社会福祉施設・上水道、ガス・墓地、斎場・情報等〕
- 4 - 4 市民参加のまちづくり方針

序 計画策定にあたって

序 1 計画の概要

(1) 都市計画マスタープランの役割

都市計画の総合的・長期的な指針としての役割

本計画は、世界都市構想などを踏まえて、金沢市における都市の将来像や土地利用の基本方向あるいは都市施設の整備方針を明らかにすることにより、都市計画の総合的、長期的な指針としての役割を果たすものです。

(2) 計画の構成

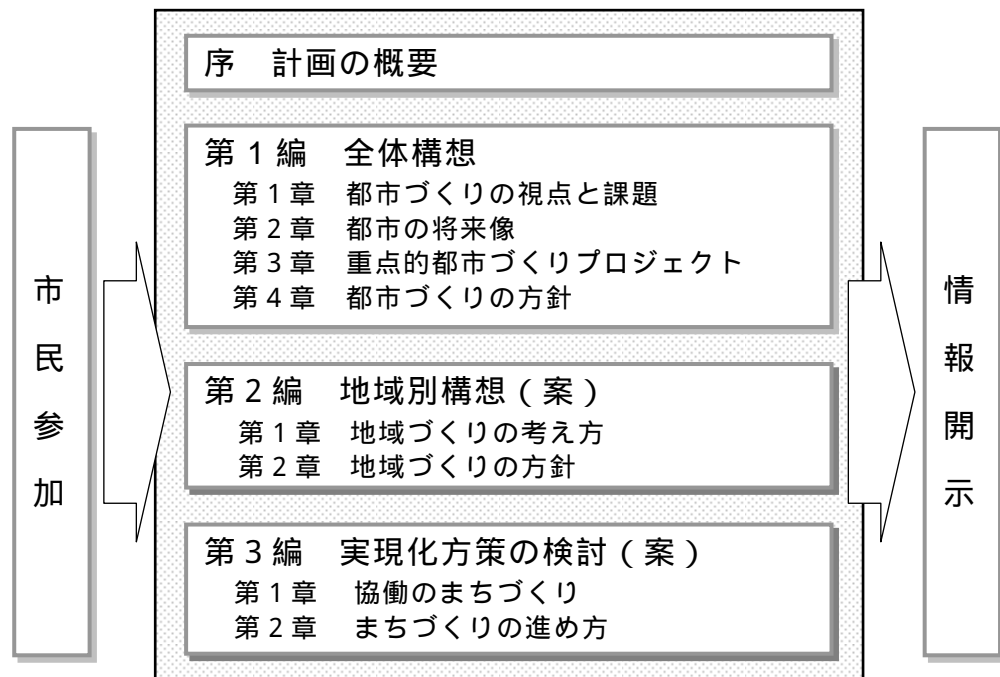
市全域に係る「全体構想」と地域に根ざした「地域別構想」

本計画は、主に「全体構想」と「地域別構想」及び「実現化方策の検討」の3編で構成しています。

全体構想では、金沢市全域に係る都市づくりの方針を示します。

一方、地域別構想では、全体構想で示した都市づくりの方針を受け、地域のまとまりや市街地の形状等を考慮し、14地域に区分し、それぞれの地域の特性に応じた地域づくりの方針を示します。

図 - 計画の構成



(3) 改訂の目的

社会経済情勢の変化を踏まえた計画の改訂

本計画は、平成10年3月に策定された「金沢市都市計画マスタープラン」について、策定時から現在までの社会経済情勢の変化を踏まえて改訂するものです。

(4) 計画が目標とする年次と策定体制

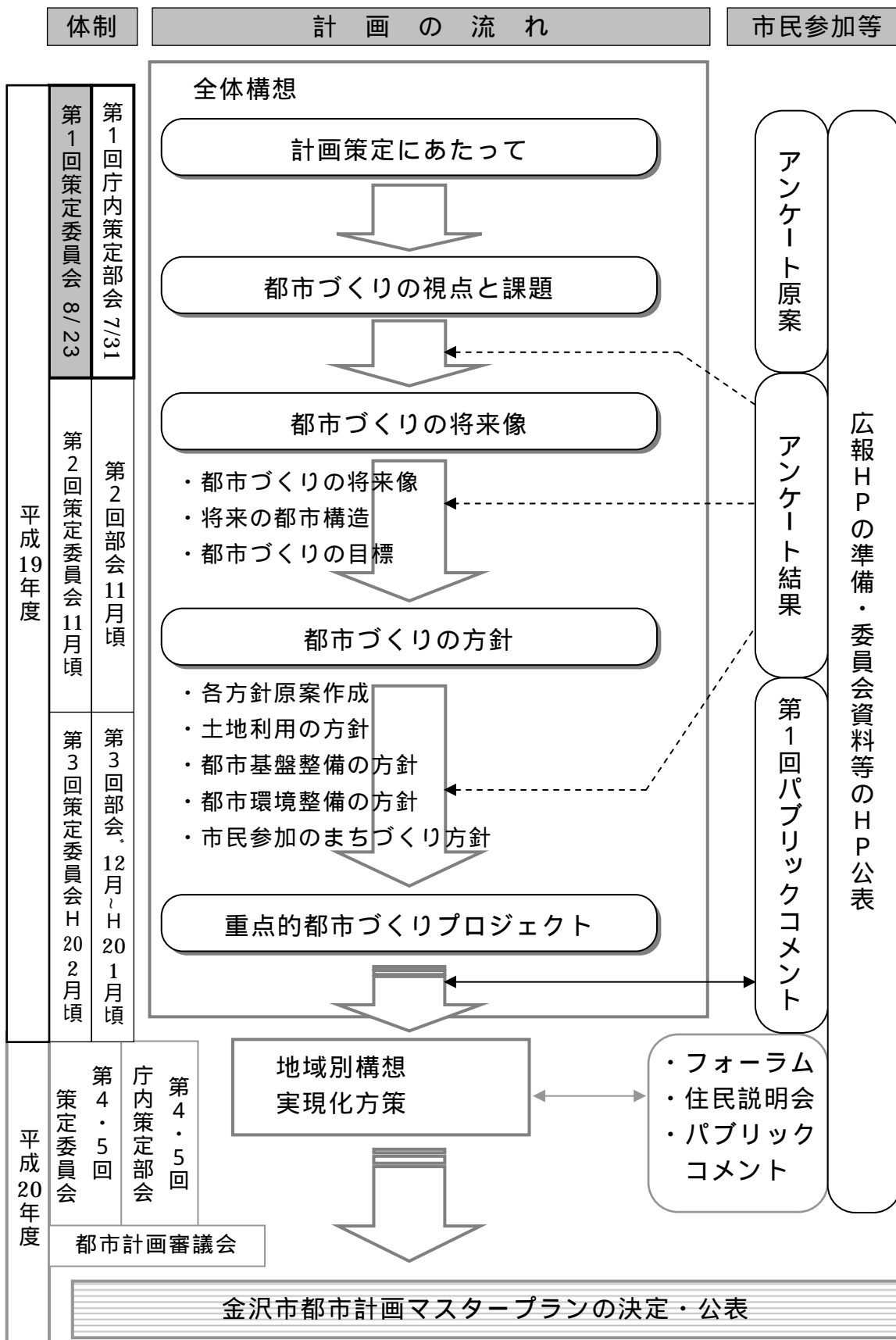
おおむね20年後を目標に市民参加のもとで

本計画の目標年次は、おおむね20年後の平成37年（西暦2025年）とします。

庁内各課が推進する各種まちづくり事業、施策との整合調整を図るために組織する「庁内策定部会」及び、学識経験者や各種団体、市民代表者で組織する「策定委員会」での審議を踏まえながら、平成19年から20年の2ヶ年をかけて策定します。

策定にあたっては、市民の意見・提案等を計画に反映させるため、アンケート調査ならびにパブリックコメントを実施するほか、金沢市のホームページを通じて都市計画マスタープランの策定状況を随時掲載するなど、恒常的な情報開示に努めます。

図 - 計画策定の流れとスケジュール予定



序 2 既定計画策定以降の都市づくりの取り組み

象徴的な都市整備により変化した都市構造とこれからの発展期待

既定計画策定以降おおむね 10 年の中で進められてきた本市の主な都市づくりの状況は次のとおりです。

都市づくりの取り組み		事業等の概要・状況	整備の姿・イメージ
市街地整備	土地区画整理事業	・現在 186 地区が施行済、15 地区で施行中であり、既定計画策定時からは、施行済地区が 20 地区増加しました。施行済面積は平成 10 年の約 18% 増となります。	 <p>鞍月地区</p>
	市街地再開発事業	・金沢駅武蔵北地区に第一種市街地再開発事業として平成 14 年 3 月に「ルキーナ金沢」が完成しました。この再開発の完成で、駅前の新たな都市軸を形成する金沢駅通り線も開通しました。	 <p>ルキーナ金沢</p>
	金沢テクノパークの整備	・高度技術産業、地域拠点産業および試験研究開発機関など付加価値の高い都市型産業にふさわしい創造拠点として、平成 4 年に着工し、第 3 工区が平成 14 年 11 月に完工しました。	
交通・港湾関連施設整備	北陸自動車道・金沢森本 IC の整備	・平成 15 年 3 月に北陸自動車道金沢森本 IC が整備され、北陸自動車道と能登有料道路が高規格道路で結ばれました。能登有料道路までの所要時間が短縮されました。	
	山側環状道路の整備	・国道 8 号の金沢市今町から白山市乾町までの 26.4 キロを結ぶ金沢外環状道路山側幹線が平成 18 年 4 月に全線供用開始しました。各地域から北陸自動車道へのアクセスが向上し、交流人口の拡大が期待されます。	

都市づくりの取り組み		事業等の概要・状況	整備の姿・イメージ
交通・港湾関連施設整備	金沢駅東口広場の整備	<ul style="list-style-type: none"> 平成 10 年 3 月に着工、7 年の歳月を経て平成 17 年 3 月 20 日に完成し、ガラスドームは「もてなしドーム」と名付けられました。 	
	金沢ふらっとバスの運行	<ul style="list-style-type: none"> 金沢の道路特性上の交通課題を改善するとともに、環状方向への移動を補完する路線として、また高齢者の外出意欲の高まりへの対応として「金沢ふらっとバス」が運行されています。 平成 11 年 3 月に此花ルートが、続いて菊川ルートが平成 12 年 3 月、材木ルートが平成 15 年 3 月に運行を開始し、市民の気軽な足として利用されています。 	 
	JR 東金沢駅・森本駅の再整備	<ul style="list-style-type: none"> 東金沢駅は平成 14 年 10 月に現在の新しいバリアフリーに配慮した駅に生まれ変わりました。 森本駅は平成 14 年 12 月にバリアフリー設備も整った橋上駅としてリニューアルされました。 	 東金沢駅
	北陸新幹線の整備	<ul style="list-style-type: none"> 平成 17 年 4 月に富山～金沢間のフル規格工事が認可となり、平成 26 年度末の開業を目指し整備が進められています。 	 森本駅周辺の様子
	金沢港多目的国際ターミナルの整備	<ul style="list-style-type: none"> 船舶の大型化に対応した大水深岸壁や多目的国際ターミナル等の整備を、平成 18 年 7 月に整備に着手し、平成 27 年完成を目標に整備が進められています。 	
公園整備	<ul style="list-style-type: none"> 金沢大学キャンパスの角間地区への移転を機に、「兼六園」と一体になった金沢のシンボル空間として平成 8 年 1 月に総合公園として 28.5ha が都市計画決定され、現在整備が進められています。 		

都市づくりの取り組み		事業等の概要・状況	整備の姿・イメージ
まちなみ・景観関連事業等	景観関連条例の制定	<ul style="list-style-type: none"> 「金沢の歴史的文化資産である寺社等の風景の保全に関する条例」を平成 14 年 3 月に、「金沢市における美しい沿道景観の形成に関する条例」を平成 17 年 3 月に、及び「金沢市における夜間景観の形成に関する条例」を平成 17 年 9 月に制定し、既存の景観条例とあわせ、総合的な都市景観整備を進めています。 	 
	石川県立音楽堂の整備	<ul style="list-style-type: none"> 伝統芸能と、質の高い洋楽文化を育んだ土地柄を背景に、石川県が邦楽と洋楽の交流及び、内外に向けて音楽文化を発信する拠点として計画し、平成 13 年 8 月竣工されました。 	
公共公益施設整備	石川県庁の移転・整備	<ul style="list-style-type: none"> 人にやさしい県庁舎、また、環境にやさしい県庁舎、災害に強い県庁舎を目指し、広坂地区から鞍月地区に移転、平成 15 年 1 月に開庁しました。 	
	金沢 21 世紀美術館の整備	<ul style="list-style-type: none"> 世界の同時代の美術表現に市民とともに立ち会う美術館、新たな「まちの広場」、実験の場、子どもたちの体験の場としての役割を担って、県庁舎跡地に整備され平成 16 年 10 月に開館しました。 	
市民参加	「金沢市まちづくり条例」の制定	<ul style="list-style-type: none"> 地域にふさわしい市民主体のまちづくりを推進し、個性豊かで住み良い金沢の都市環境を形成していくことを目指し、平成 12 年 7 月「金沢市まちづくり条例」を制定しました。 現在、住民自らがまちづくりのルールを自主的に定める「まちづくり協定」が計 20 地区、約 122ha で締結されています。 	

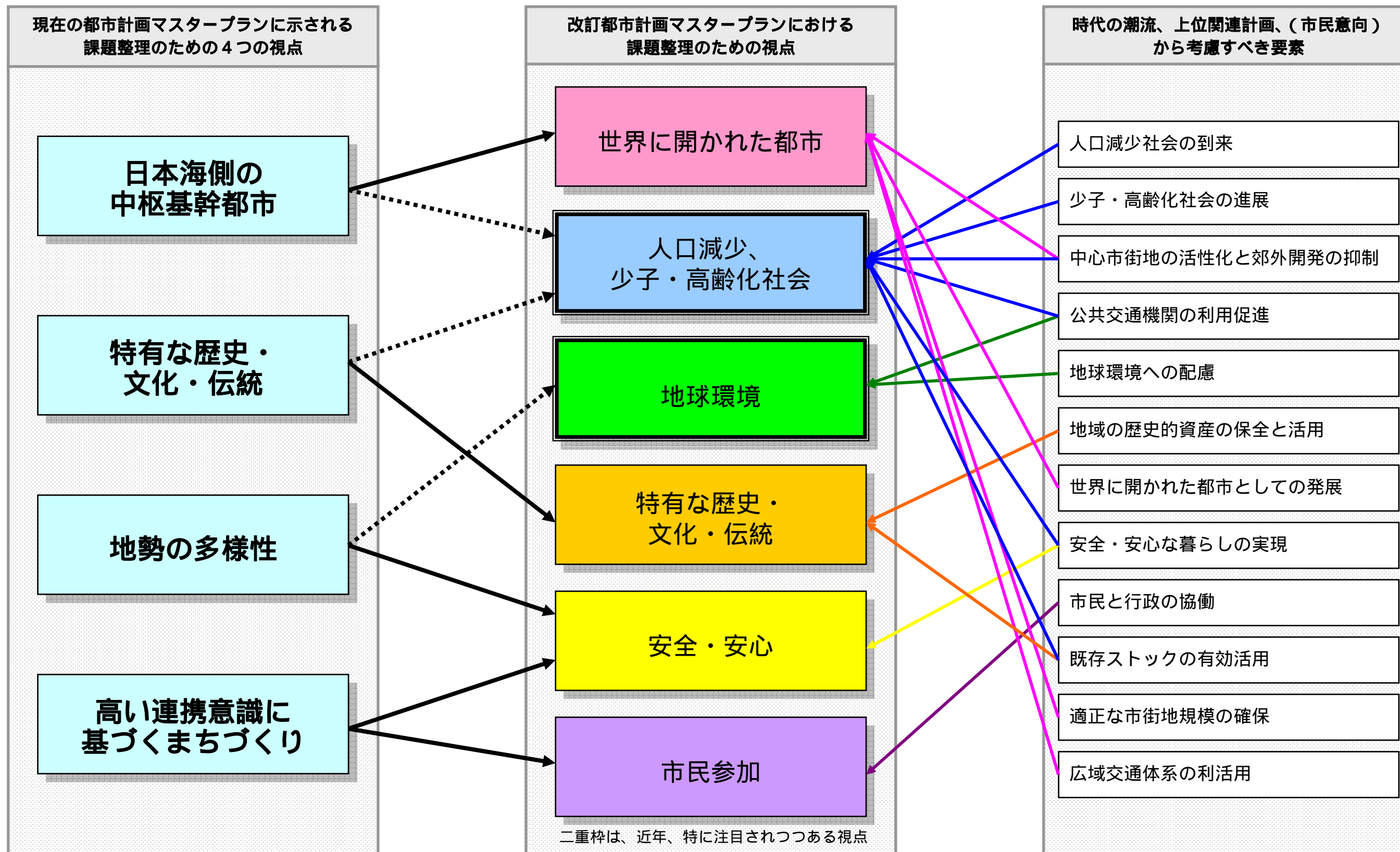
第1章 都市づくりの視点と課題

1 1 現行の都市計画マスタープランにおける視点・課題等



1 2 今回の改訂にあたっての視点

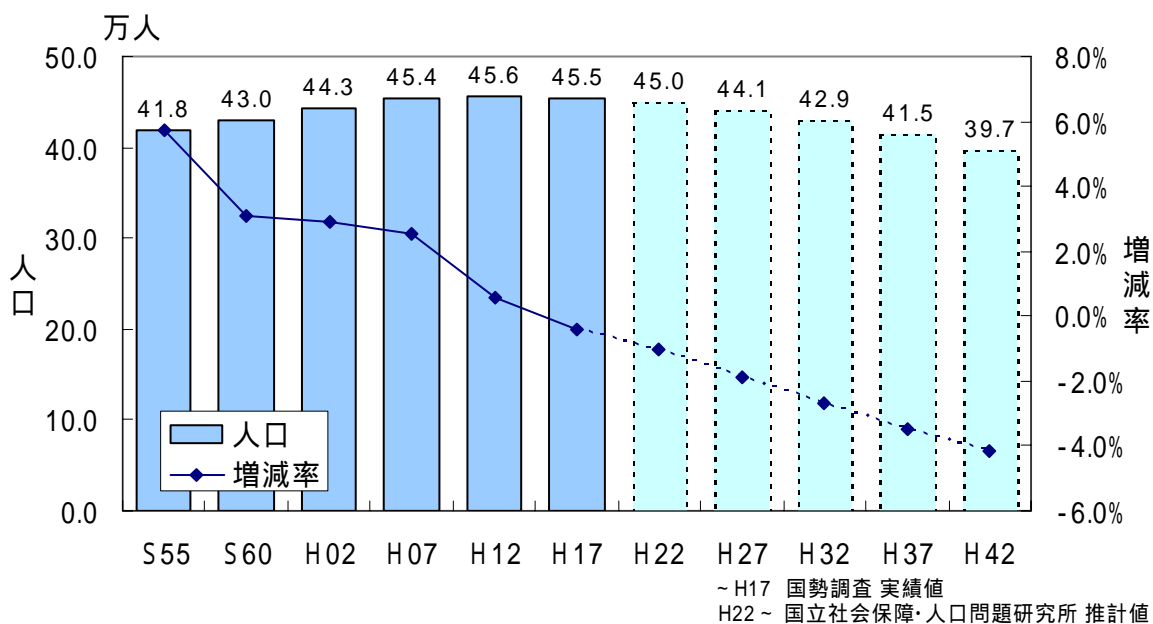
都市計画マスタープランの改訂にあたっての視点については、現在の都市計画マスタープランに示される視点に、「時代の潮流」「上位関連計画」及び「市民意向」から、新たに考慮すべき要素を加味して抽出しました。



(1) 時代の潮流から考慮すべき要素

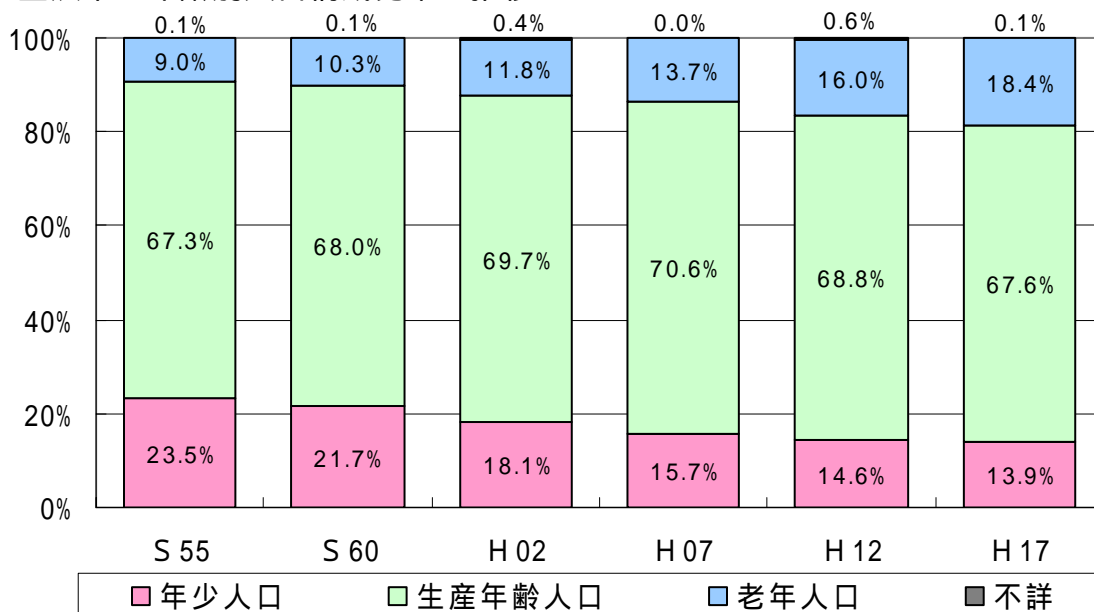
金沢市の人口は平成17年より減少に転じ、このままの推移では、将来的にも人口減少傾向が続くと予想されています。
人口減少社会の到来

金沢市における人口推移・増減率推移・推計



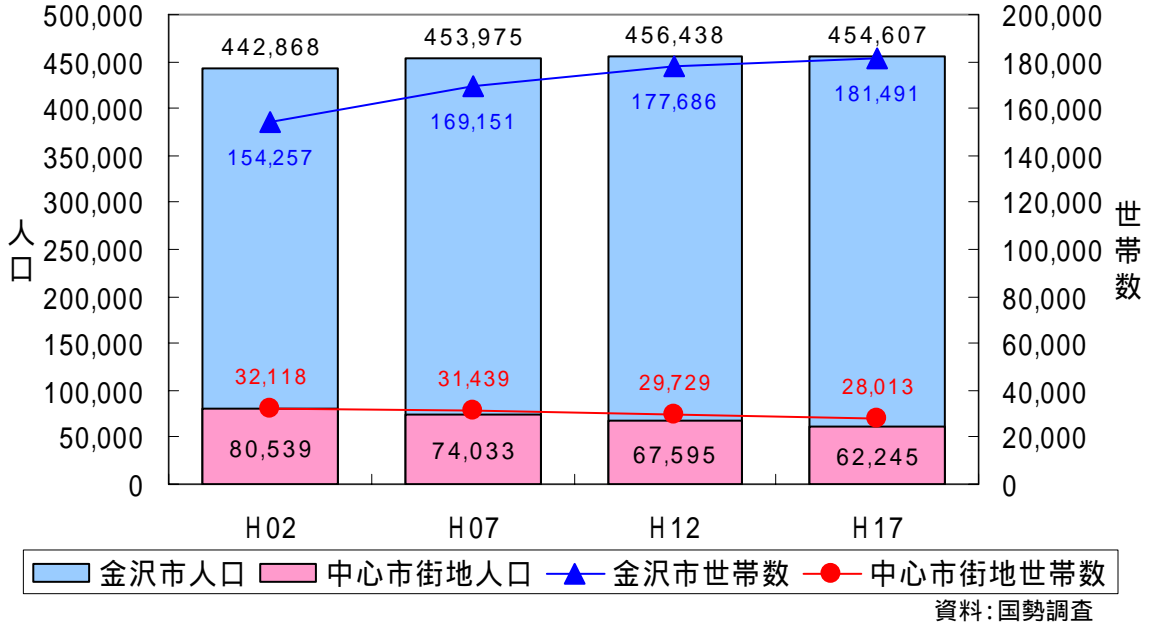
金沢市では、15歳未満の年少人口の割合が減少する一方で、65歳以上の老年人口の割合が年々増加し続けています。
少子・高齢化社会の進展

金沢市の年齢別人口構成比率の推移

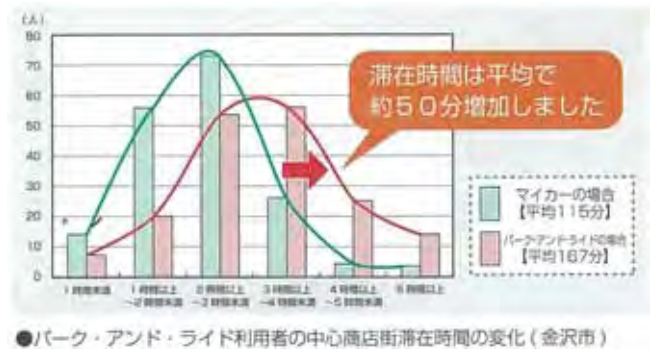
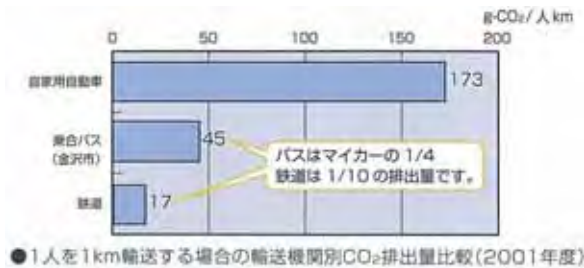
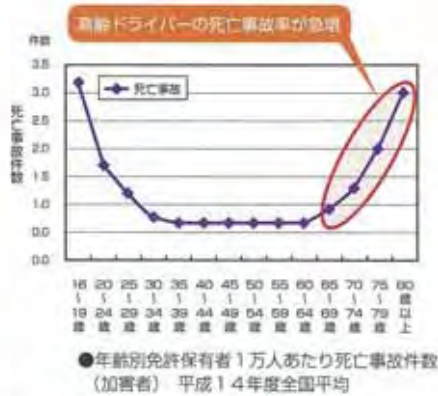
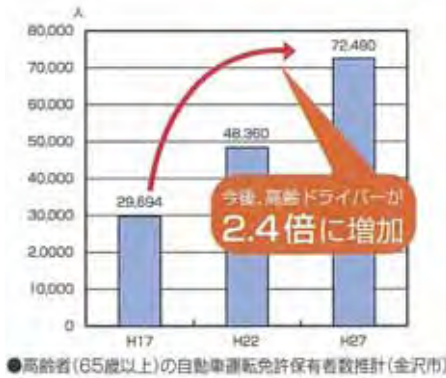


金沢市の中心市街地における人口・世帯数は、年々減少の一途を辿り、空洞化の進展と活力の低下が懸念されています。
 中心市街地の活性化と郊外開発の抑制

金沢市及び中心市街地における人口・世帯数の推移



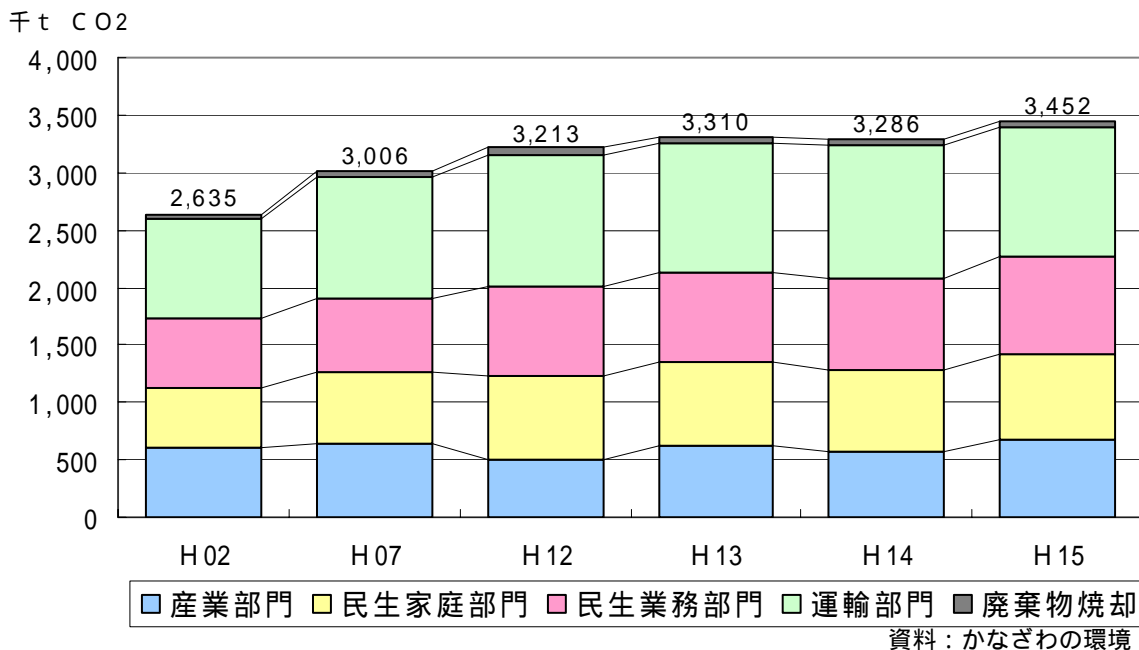
高齢者の増加、地球温暖化防止、まちなかの賑わい創出などに向けて、公共交通機関が担う役割が注目されています。
 公共交通機関の利用促進



出典：新金沢交通戦略

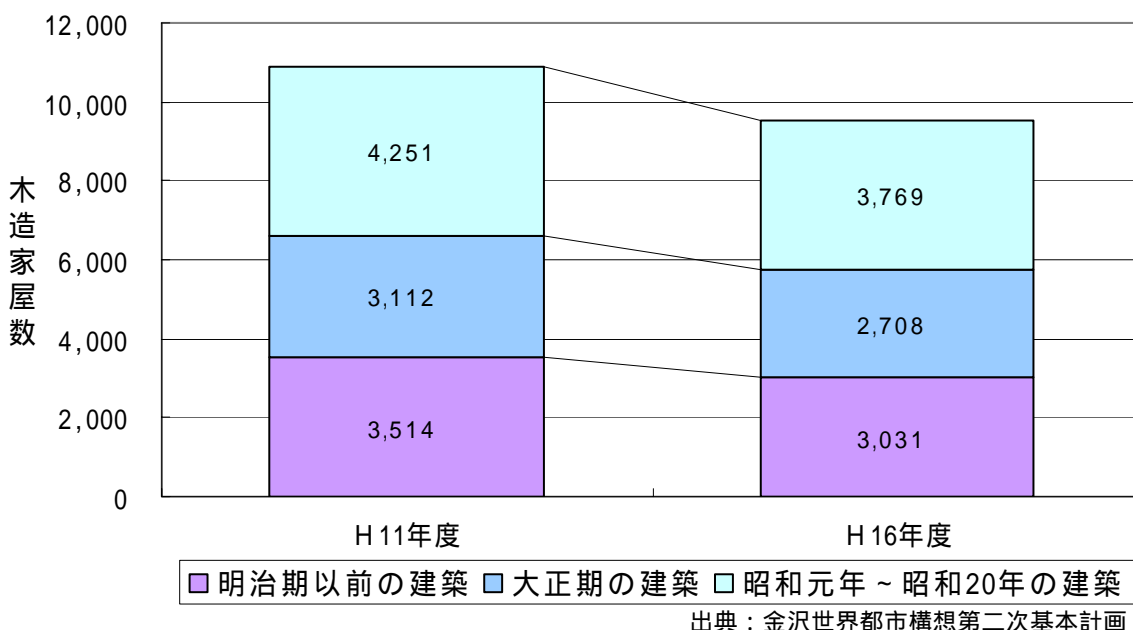
金沢市における二酸化炭素の排出量は年々増加傾向にあり、特に運輸部門の占める割合が高くなっています。
地球環境への配慮

金沢市における二酸化炭素排出量の推移



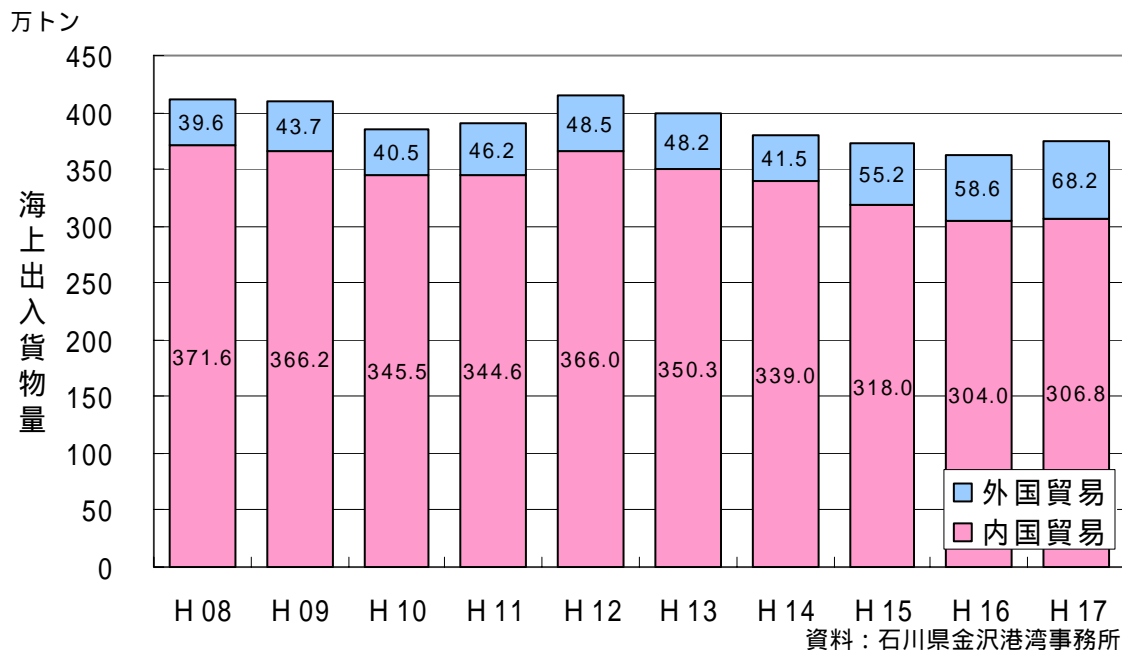
金沢市には古くからのまちなみが随所に残されており、城下町・観光都市金沢としての歴史性・個性があらためて注目されています。
地域の歴史的資源の保全と活用

まちなか区域における昭和20年以前に建築された木造家屋数の推移



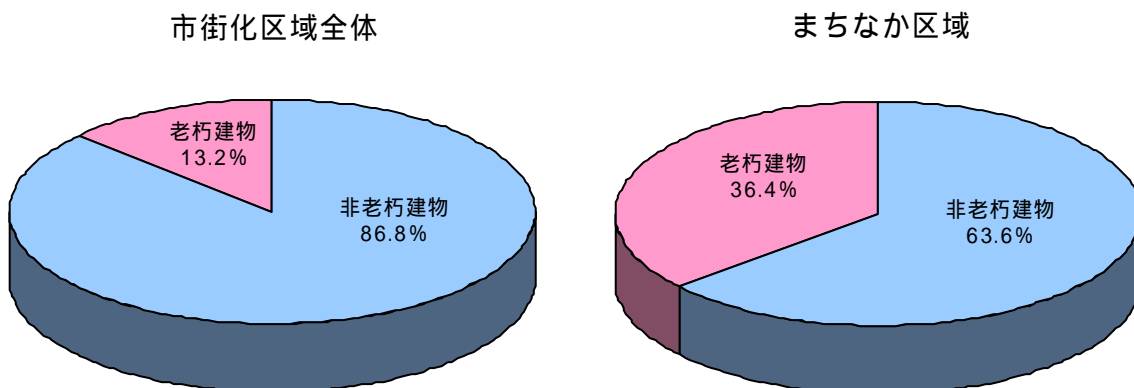
社会経済のグローバル化に伴い、金沢市においても、金沢港での外国貿易が増加傾向にあるなど、国際化への対応が急務となっています。
世界に開かれた都市としての発展

金沢港の出入貨物量の推移



地震等災害の多発、耐震偽造等の問題などを背景に、非被災都市で老朽建物が多い金沢市でも、安全、安心に対する関心が高まっています。
安全・安心な暮らしの実現

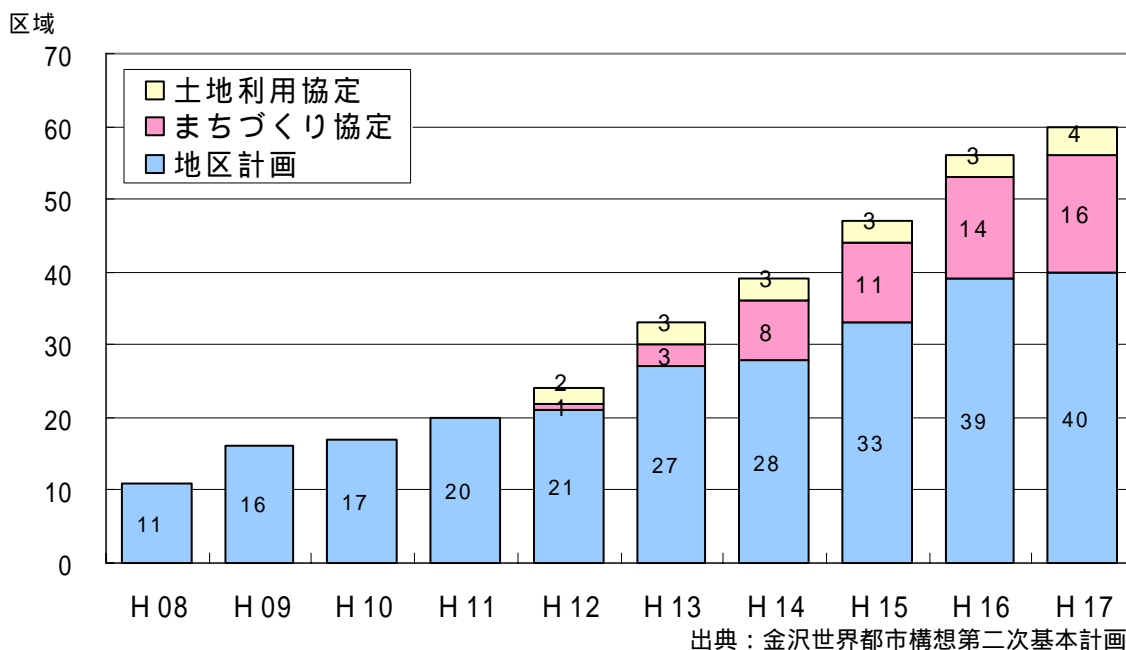
金沢市における老朽建物戸数（昭和46年以前の建物戸数）の割合



資料：固定資産課税台帳（H16）

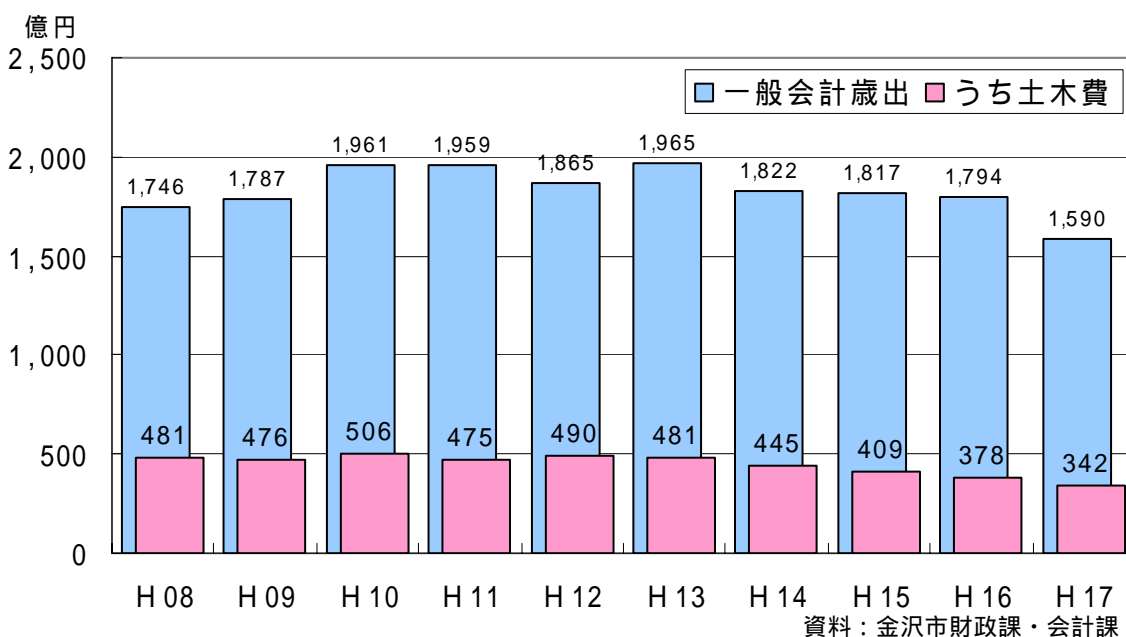
本格的な地方分権時代の進展にあたり、まちづくりに対する市民参加が重要となっています。
市民と行政の協働

金沢市における地区計画、まちづくり協定、土地利用協定の締結状況



厳しい財政状況の中で、金沢市においても公共投資予算、特に土木費の減少が著しく、今後は、既存都市基盤の有効活用が求められています
既存ストックの有効活用

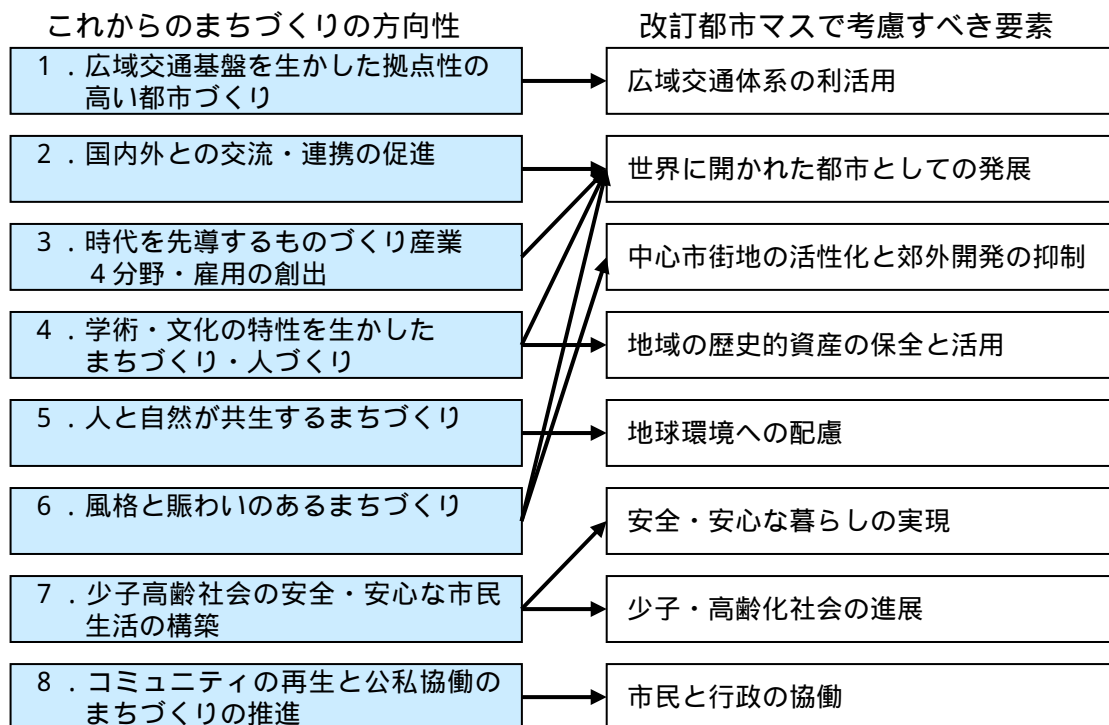
金沢市における予算の推移



(2) 上位関連計画から考慮すべき要素

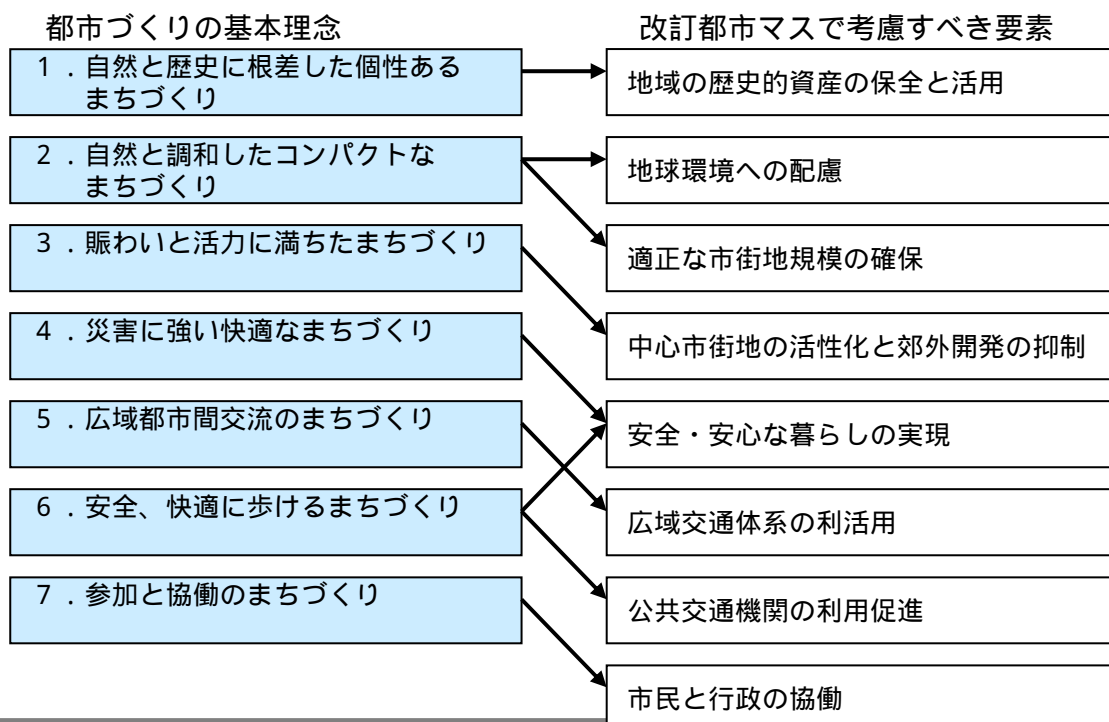
1) 「金沢世界都市構想(第二次基本計画)」【平成18年3月策定】

「世界都市・金沢」の実現に向けて、これからのまちづくりの方向性として次の8点を挙げています。



2) 「石川県都市計画マスタープラン」【平成16年5月策定】

金沢都市計画区域の整備、開発及び保全の方針(金沢都市計画区域マスタープラン)では、都市づくりの基本理念として次の7点を挙げています。

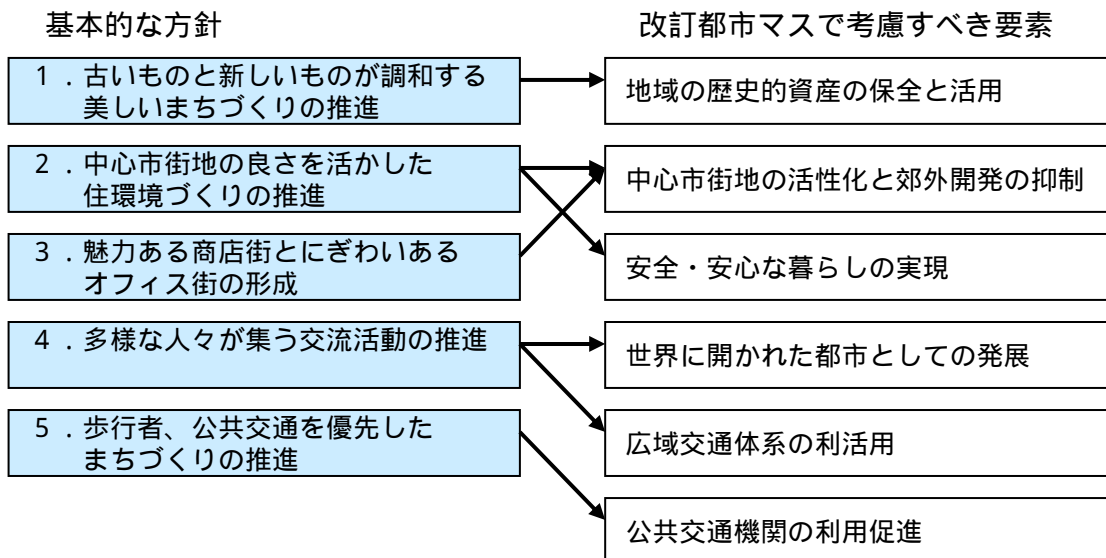


金沢都市計画 都市計画区域の整備、開発及び保全の方針 附図



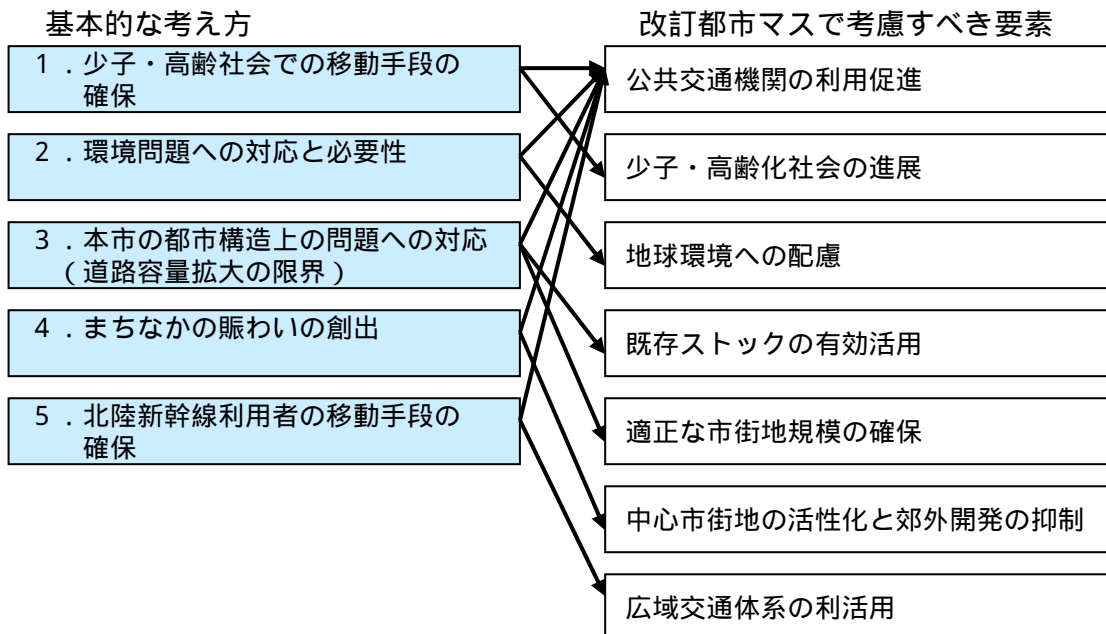
3)「金沢市中心市街地活性化基本計画」【平成 19 年 5 月策定】

中心市街地の活性化に関する基本的な方針として、次に示す 5 つを挙げています。



4)「新金沢交通戦略」【平成 19 年 3 月策定】

歩行者・公共交通優先のまちづくりを進めるための具体的な行動に向けた基本的な考え方として、次に示す 5 つを挙げています。



1 3 今回の改訂にあたっての課題

都市計画マスタープランの改訂にあたっての課題については、現在の都市計画マスタープランに示される都市計画の課題に対するこれまでの取り組み評価を踏まえつつ、6つの視点に基づいて、残された課題と新たな課題を抽出しました。

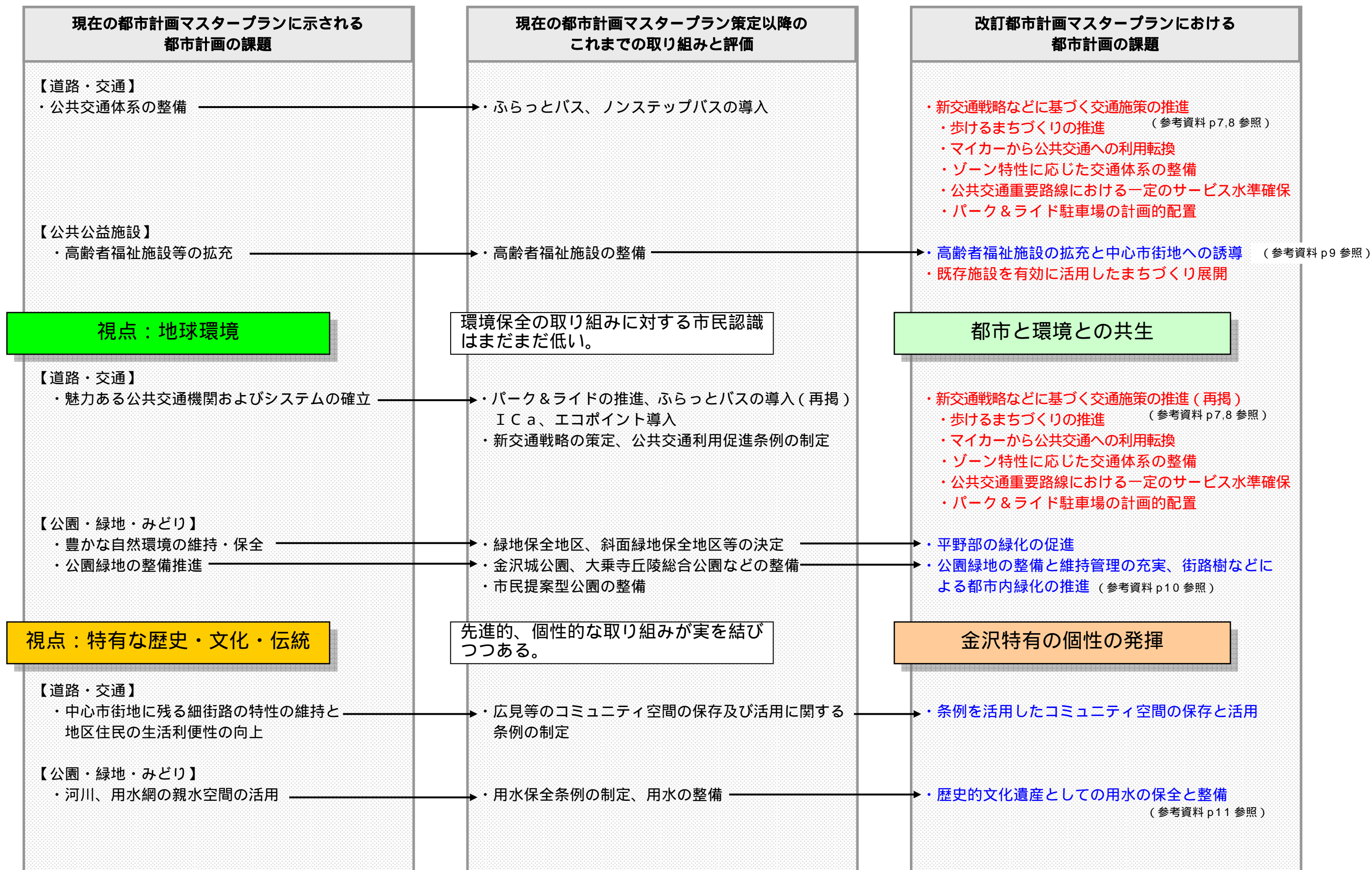
青字：残された課題 赤字：新たな課題



(参考資料 p1,2 参照)

(参考資料 p5 参照)

青字：残された課題 赤字：新たな課題



青字：残された課題 赤字：新たな課題

